

突然の故障に備えよう！

りふお～む実績 PICK UP !

暦の上では春を過ぎても、まだまだ寒いこの季節。突然、給湯器が壊れてしまい「寒いにお風呂で温まることができない…！」「お湯が出なくて冷たい水での洗い物はキビシイ…！」(>_<)と、居住者が不便を感じないために、年数の経った給湯器は交換をお勧めしております。特に、製造年数が15年を経過しているものは、いつ不具合が発生してもおかしくありません！建物を建ててから一度も交換していない場合、全部屋の分を一気に交換しなくてははいけなくなる可能性も出てきます。是非、ご検討下さい！



給湯器の耐用年数は 10～15年

☆各メーカーでも標準的な使用条件下で、安全上支障なく使用できる設計標準使用期間を定めており、家庭用給湯器は10年と設定されています。10年以上経つと、保守部品も無くなり修理できなくなります。

給湯器の故障原因は 経年劣化による部品の摩耗、基板の故障

☆小さなトラブルが発生したら交換時期と考えましょう！

主な症状としては

- ★給湯温度が一定でなく上がったり下がったりする
- ★給湯器から異音がする（ボンツと大きな着火音がする）
- ★湯張り後のお湯がぬるい（設定温度で湯張りできない）
- ★追い焚きができない
- ★使うと給湯器周りがガス臭い
- ★お湯の出が遅くなる（温まるのに時間がかかる）

製造年数の見方

03.10-053810
2003年10月製造